





Dahua レコーダ製品 クィックマニュアル 3

対象機種
XVR-X シリーズ


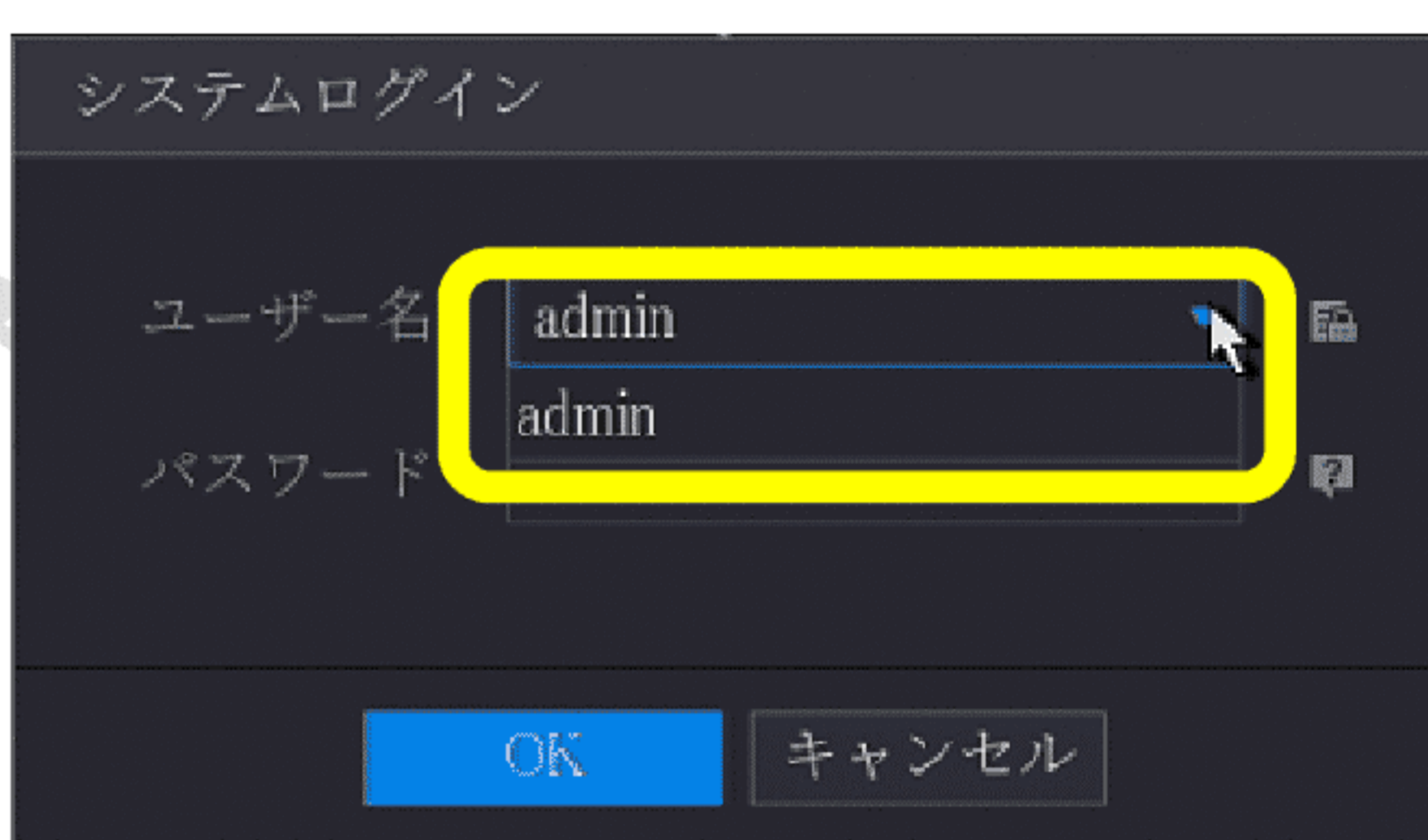
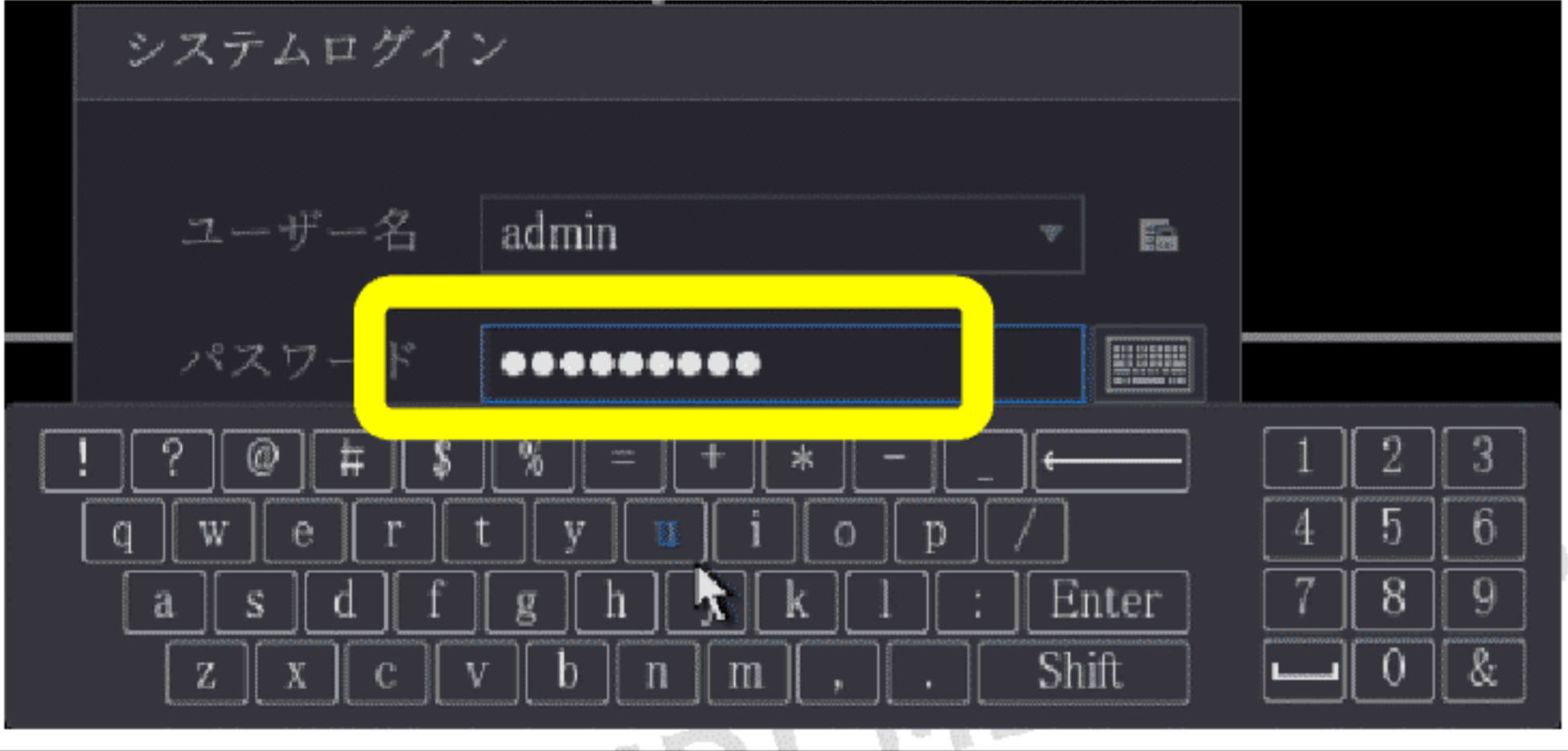
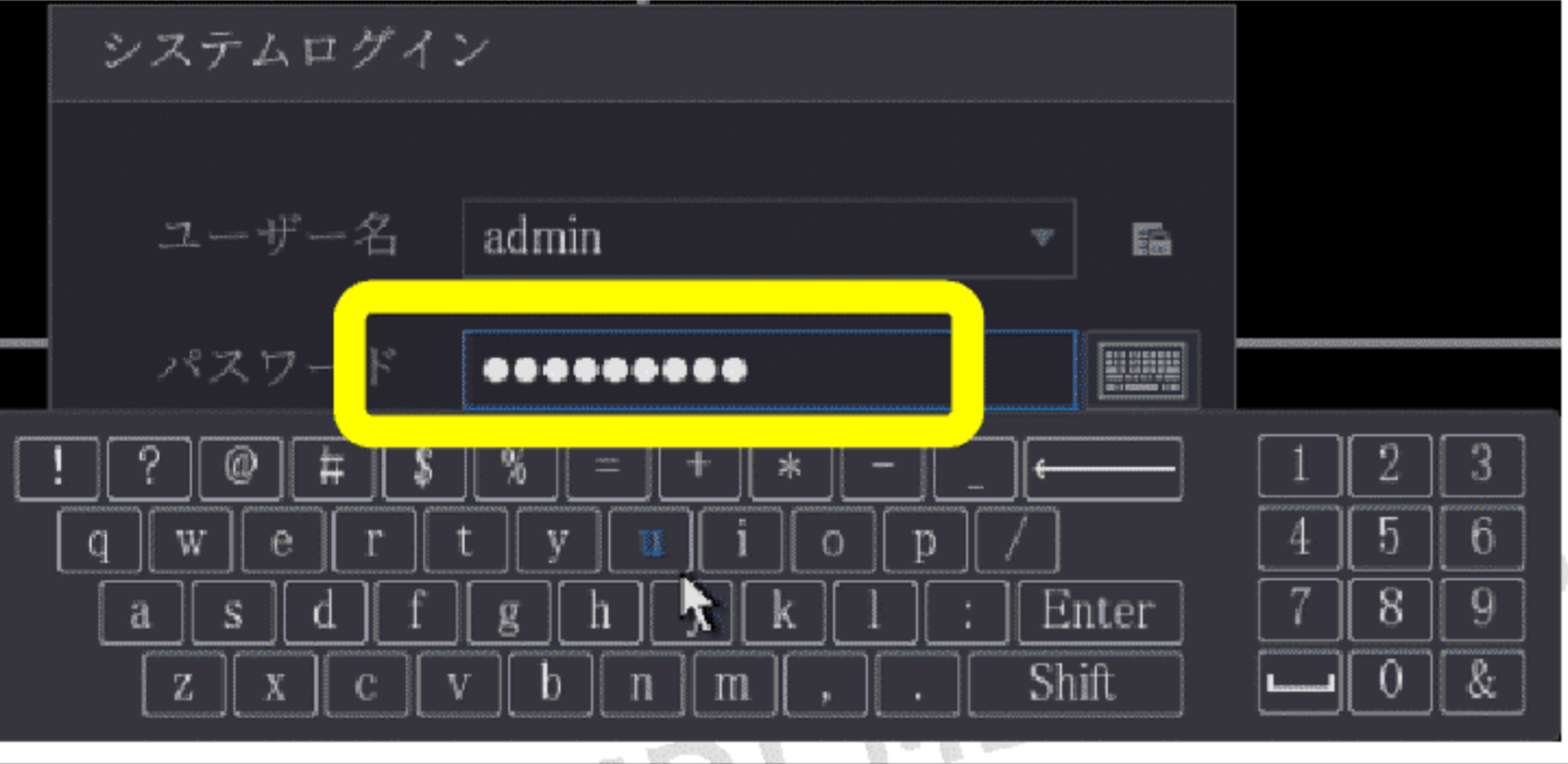


1. 画面操作

レコーダはマウスだけで操作を行います。文字入力にはソフトウェアキーボードを使用します。

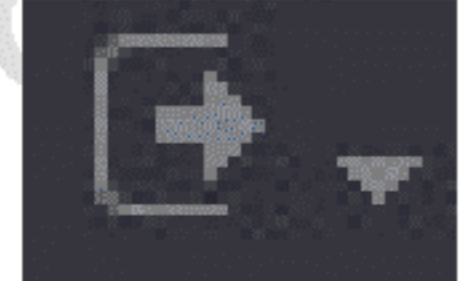

(1)マウス操作 基本の操作は右記の通りです。	左クリック	選択、決定
	右クリック	キャンセル

(2)ソフトウェアキーボード操作 パスワードなど文字入力が必要な場合  パスワード 入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。	 はスペース、  は1文字消去 
---	--

2. システムへのログイン

(1)システムにログインするには画面上にマウスのポインターを置き、右クリックします。 右のメニューが表示されるので「メインメニュー」をクリックします。		(2)「システムログイン」のポップアップメニューが表示されます。「ユーザー名」のプルダウンメニューから自分が使用するユーザー名を選択します。	
(3)「パスワード」にマウスのポインターをあてクリックします。		ソフトウェアキーボードが表示されるので、マウスを使って「パスワード」を入力します。 注：パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされます。ロックされたユーザーは30分間、システムログインできなくなります。ロックされた場合は、以下の対応が必要です。 ①30分間待って、再度パスワードを入力する ②レコーダを再起動する	
(4)パスワードの入力が完了したら、「OK」をクリックします。		(5)ログインに成功するとメインメニューが表示されます。 メインメニューを消去するには、マウスを右クリックします。	

3. ログアウト

(1)メニュー表示 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。 画面右上のアイコンをクリックして下さい。	
(2)シャットダウンメニュー 以下の画面が表示されるので、必要な動作を実施します。	

①ログアウト	現在のユーザーからログアウトします。
②再起動	機器が再起動します。 ※シャットダウン/再起動はアイコンクリック直後に実行されます。 ※10分以上無操作の場合、自動でログアウトします。
③シャットダウン	機器の電源を停止します。

4. ライブ映像確認

(1) 画面説明
ログインすると、ライブ映像が表示されます。

- ①画面右上にレコーダの時刻が表示されます。
- ②各カメラ画面の左下に「カメラ名」とアイコンが表示されます。
 - 映像データを記録している時に表示されます
 - 動きを検知した時に表示されます
 - CVI カメラからの入力がない時に表示されます
 - カメラにロックがかかっている時に表示されます
- ③最大接続チャンネルよりも分割表示の方が多い場合（8ch レコーダの9分割表示、32ch レコーダの36分割表示など）は、余ったチャンネルに、各チャンネルの使用帯域が表示されます。

(2) デジタルズーム
各チャンネルの上部にカーソルを移動すると、プレビュー表示画面が表示されます（）。 ボタンをクリックし、ボタンの表示が に変わることを確認。拡大したい場所でマウスをドラッグすると 緑色の選択枠が表示されます。画面をドラッグすると表示される枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、緑色の枠内がデジタルズームされます。右クリックで元の画面に戻ります。

(3) 画面表示切替
画面上で右クリックを行い、「メインメニュー」をクリック。表示させたいビューをクリックします。

ビュー-1	1画表示をします。1ch~64ch から選択します。
ビュー-4	4分割表示をします。1ch~4ch 単位で選択します。
ビュー-8	8分割表示をします。1ch~8ch 単位で選択します。
ビュー-9	9分割表示をします。1ch~9ch 単位で選択します。
ビュー-16	16分割表示をします。1ch~16ch 単位で選択します。
ビュー-25	25分割表示をします。1ch~25ch 単位で選択します。
ビュー-36	36分割表示をします。1ch~36ch 単位で選択します。

(4) PTZ 操作
操作したい画面を表示して右クリックを行い、「メニュー」を表示させ、「パン/チルト/ズーム」をクリックします。
※PTZ、モータライズ、電動バリフォーカルのカメラのみ使用可

- ①PTZ カメラを移動させます。
- ②移動速度を変更します。
- ③ズームを実行します。
- ④フォーカスを変更します。
- ⑤アイリスを変更します。

5. 映像検索・再生

(1) メニュー表示
画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。

(2) 検索画面表示
メインメニューが表示されるので、上段左端の「検索再生」をクリックします。

(3) 検索日付、カメラ指定
「検索」をクリックすると、下の検索画面が表示されます。

検索する日付と、表示するカメラを選択します。

- ① 検索する年と月を選択します。
- ② 検索する日付を選択します。
- ③ 再生するチャンネルを選択します。選択した順番で再生されます。
- ④ 再生をメイン/サブストリームで再生するかを選択します。

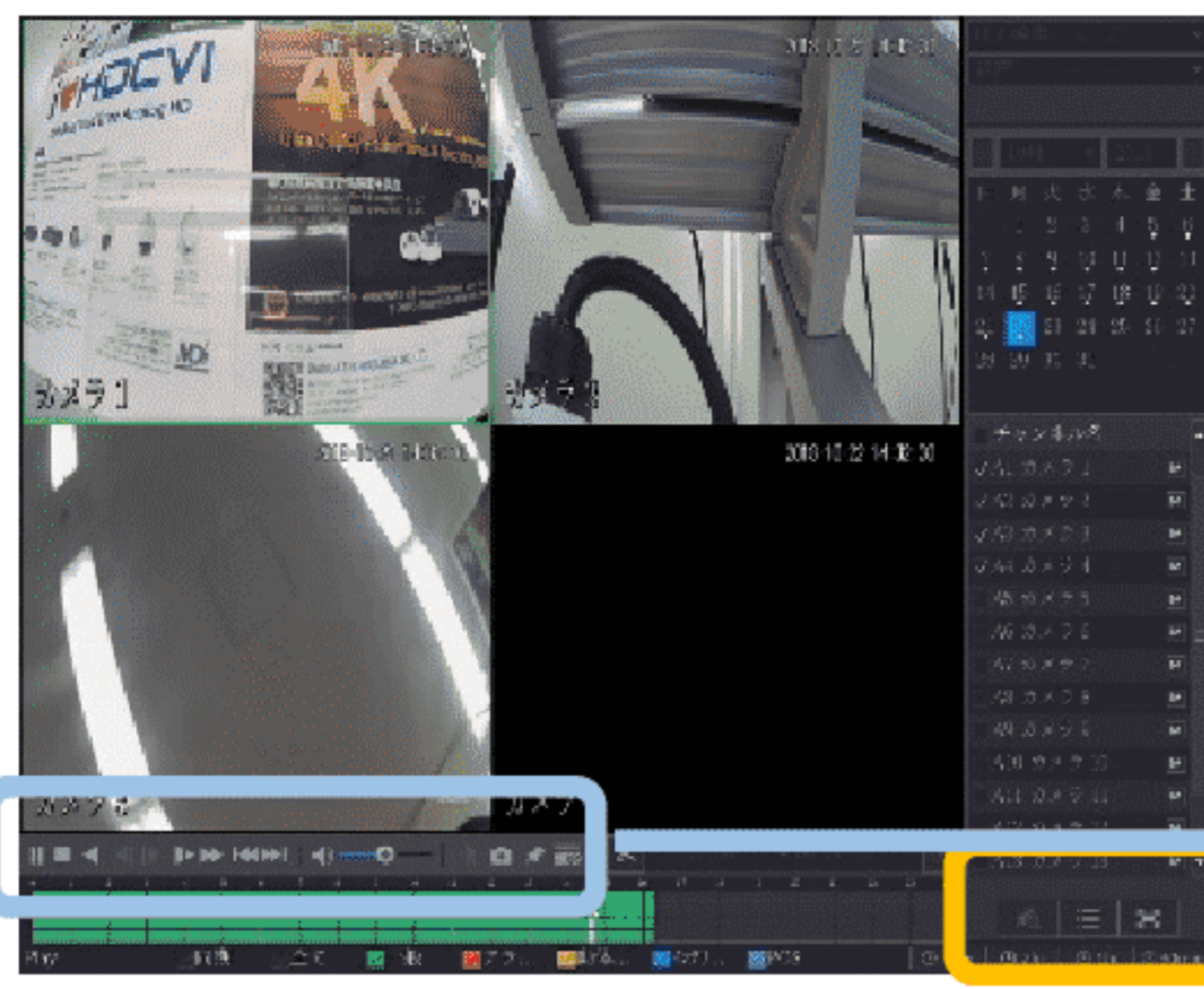
(4) 時間指定
画面下のタイムバーから、検索したい時間をクリックします。

タイムバーユニットをクリックする事で、タイムバーが表示する時間枠の表示を変更して表示を見やすく変更できます。

24hr=24 時間表示 2hr=2 時間表示
1hr=1 時間表示 30min=30 分表示

時間を指定すると再生が開始されます。

(5) 再生画面操作



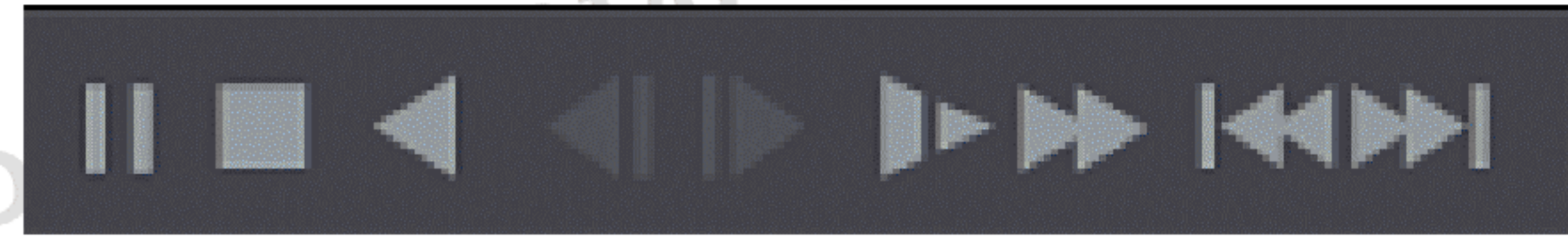
①全画面ボタンをクリックすると、全画面表示が出来ます。

右クリックで戻ります。

②1画面表示をしたい画像上で、マウスをダブルクリックすると1画面表示が出来ます。

③ライブ映像と同じ手順でデジタルズームが可能です。

④再生制御ボタンの操作は以下の通りです。



一時停止 | 停止 | 逆再生 | 前フレーム | 次フレーム | スロー再生 | 高速再生 | 前日 | 翌日
 「高速」 : x2 → x4 → x8 → x16 の4段階の切り替えが可能。
 「スロー」 : 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 の4段階の切り替えが可能。
 「前フレーム」「次フレーム」 : 一時停止状態から1フレームずつ再生。

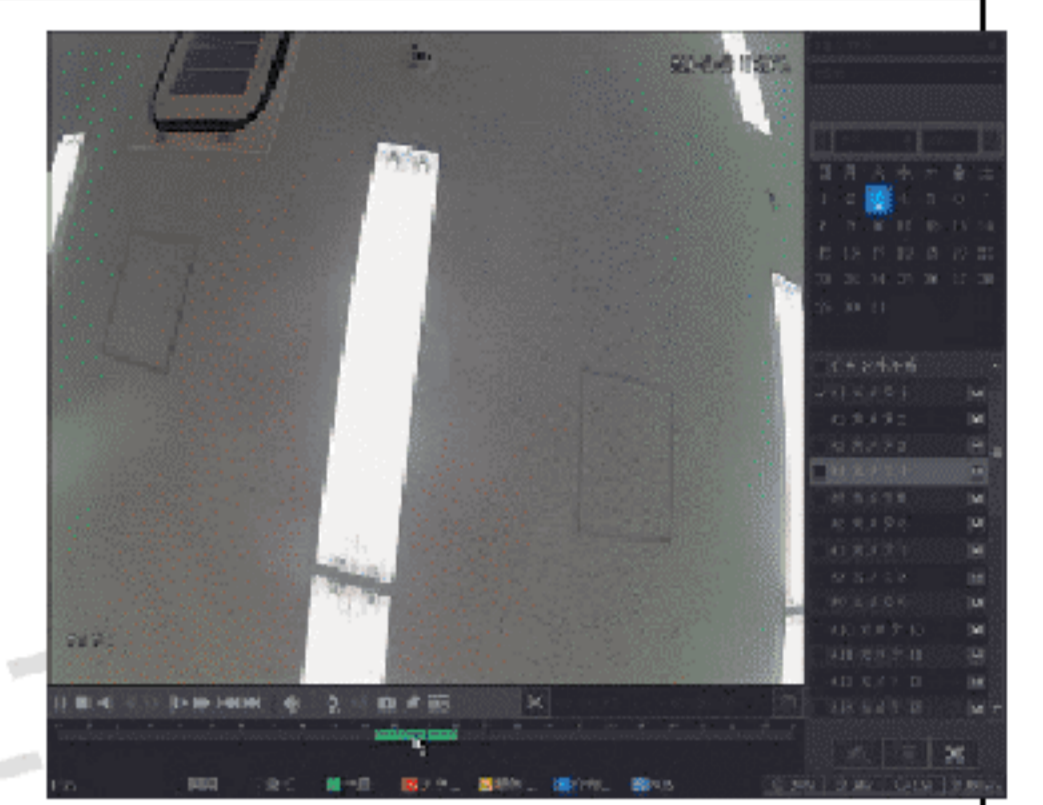
- 再生する日時を変更する場合
「停止」ボタンをクリックし、日時を再指定して下さい。
- 検索画面を終了する場合
再生を停止させ、マウスを右クリックして下さい。

6. 記録データバックアップ

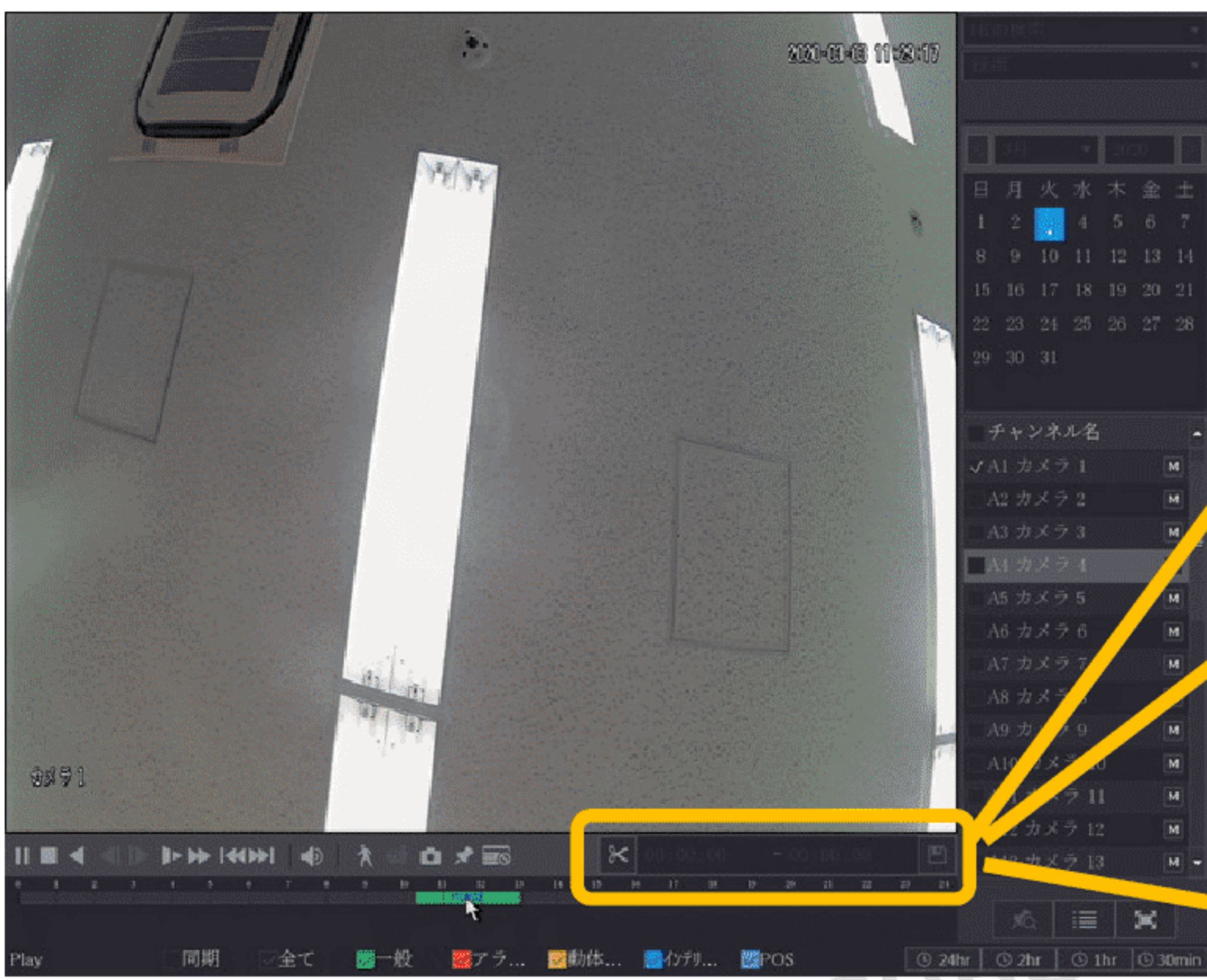
(1) USB デバイス画面表示
USB メモリを接続して下さい。
USB メモリを接続すると、右の画面が表示されるので、右クリックして画面を消します。



(2) 検索再生
「5. 映像検索・再生」の手順に従い、バックアップを行うチャンネルを1画面表示で再生します。



(3) バックアップ操作①



①バックアップ開始時刻の録画映像を再生し、ビデオクリップをクリックします。クリックした開始時刻が入力されます。



②バックアップ終了時刻の録画映像を再生し、ビデオクリップをクリックします。クリックした終了時刻が入力されます。

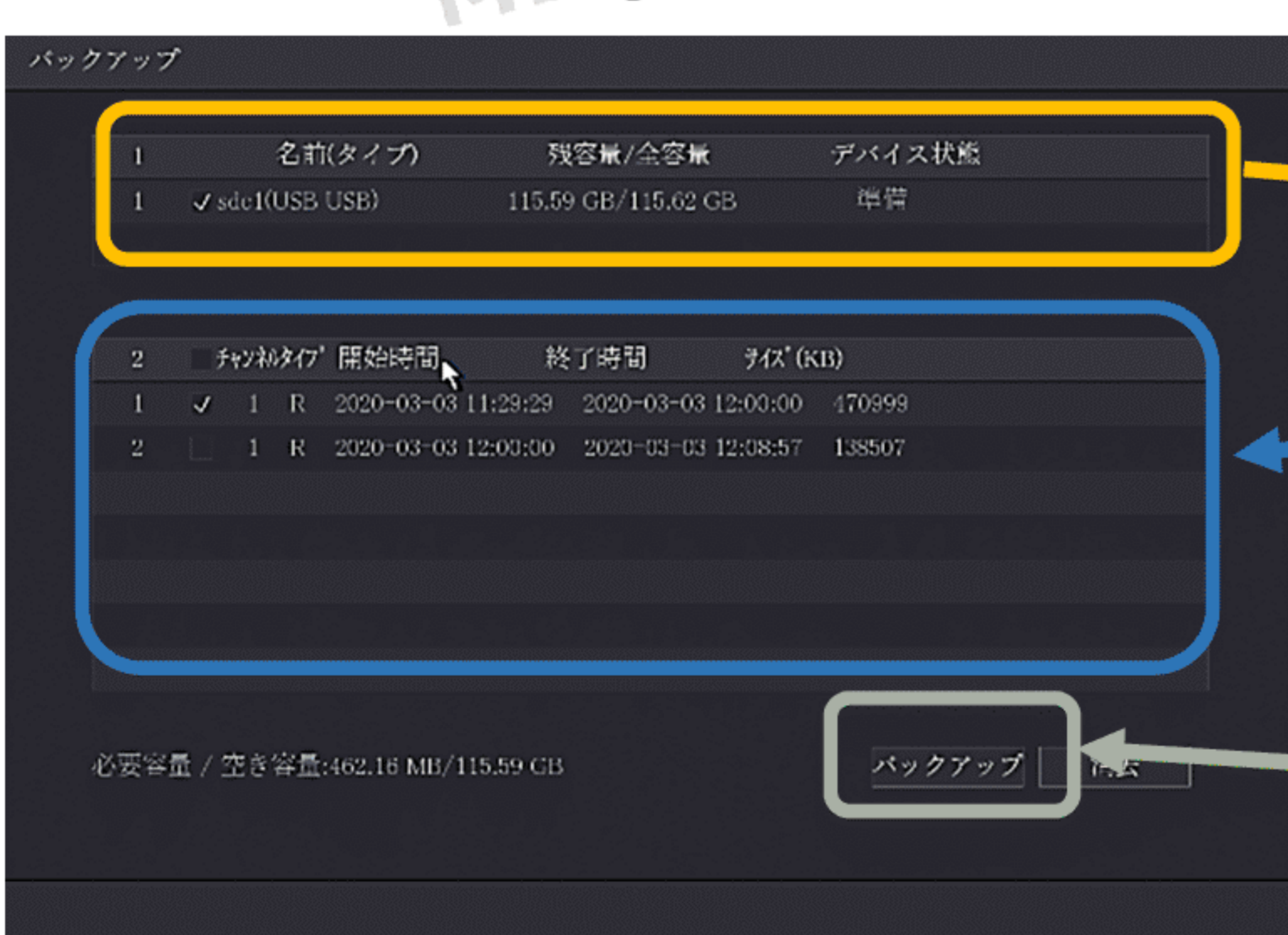


※出力する録画データ量は、1回/1時間程度を推奨。長時間のエキスポートはレコーダの動作を不安定にする場合があります。

③バックアップの時間の設定が完了したら、バックアップをクリックします。



(4) バックアップ操作②



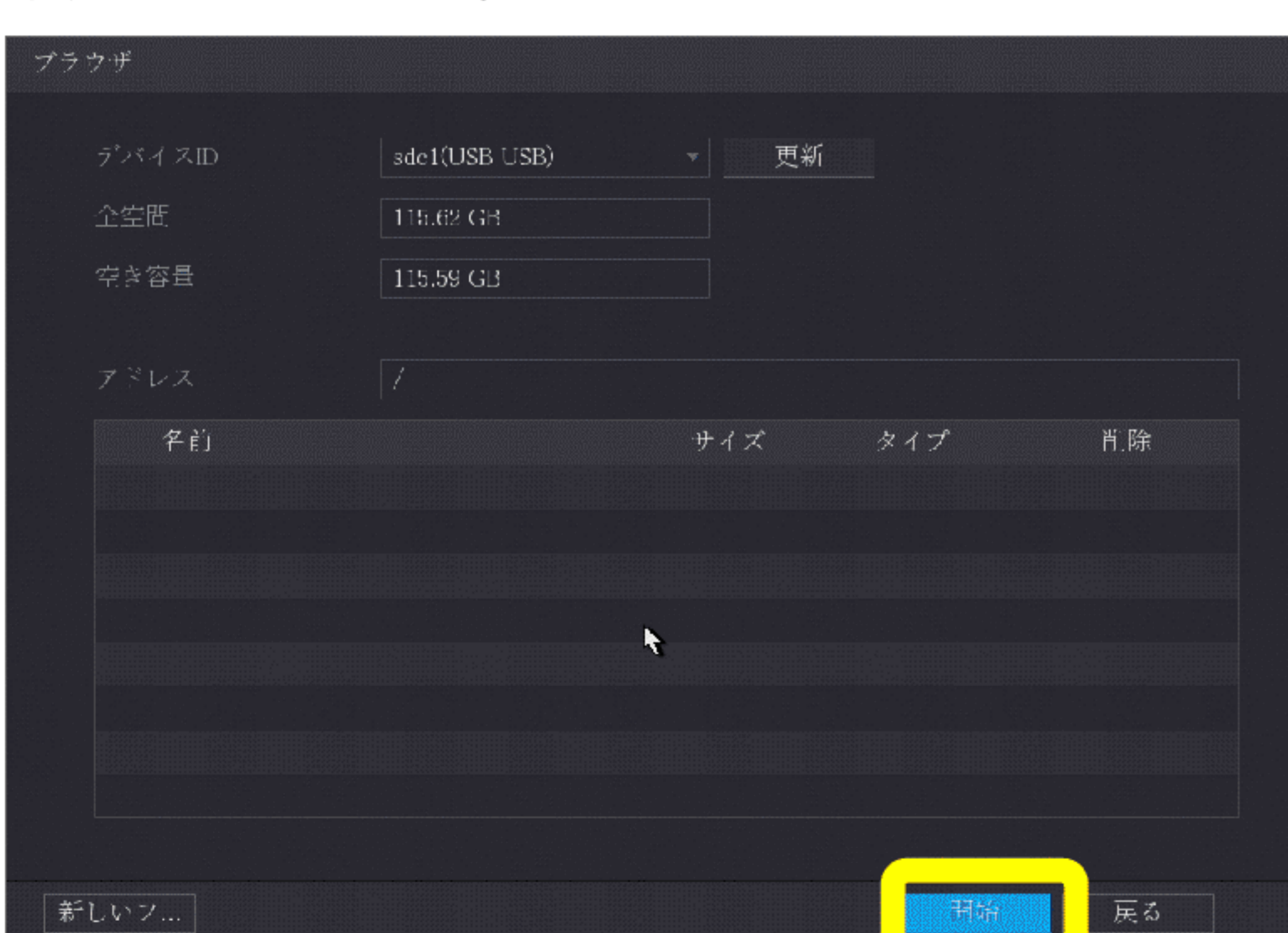
①デバイス ID に USB DISK が認識され、USB メモリの容量が表示されている事を確認して下さい。

1	名前(タイプ)	残容量/全容量	デバイス状態
1	√sdc1(USB USB)	115.59 GB/115.62 GB	準備

②バックアップファイル指定
検索が完了すると、検索条件に一致するデータが表示され、バックアップ対象のデータのチェックボックスに「✓」を入れます。必要な容量および残容量は自動的に計算されます。

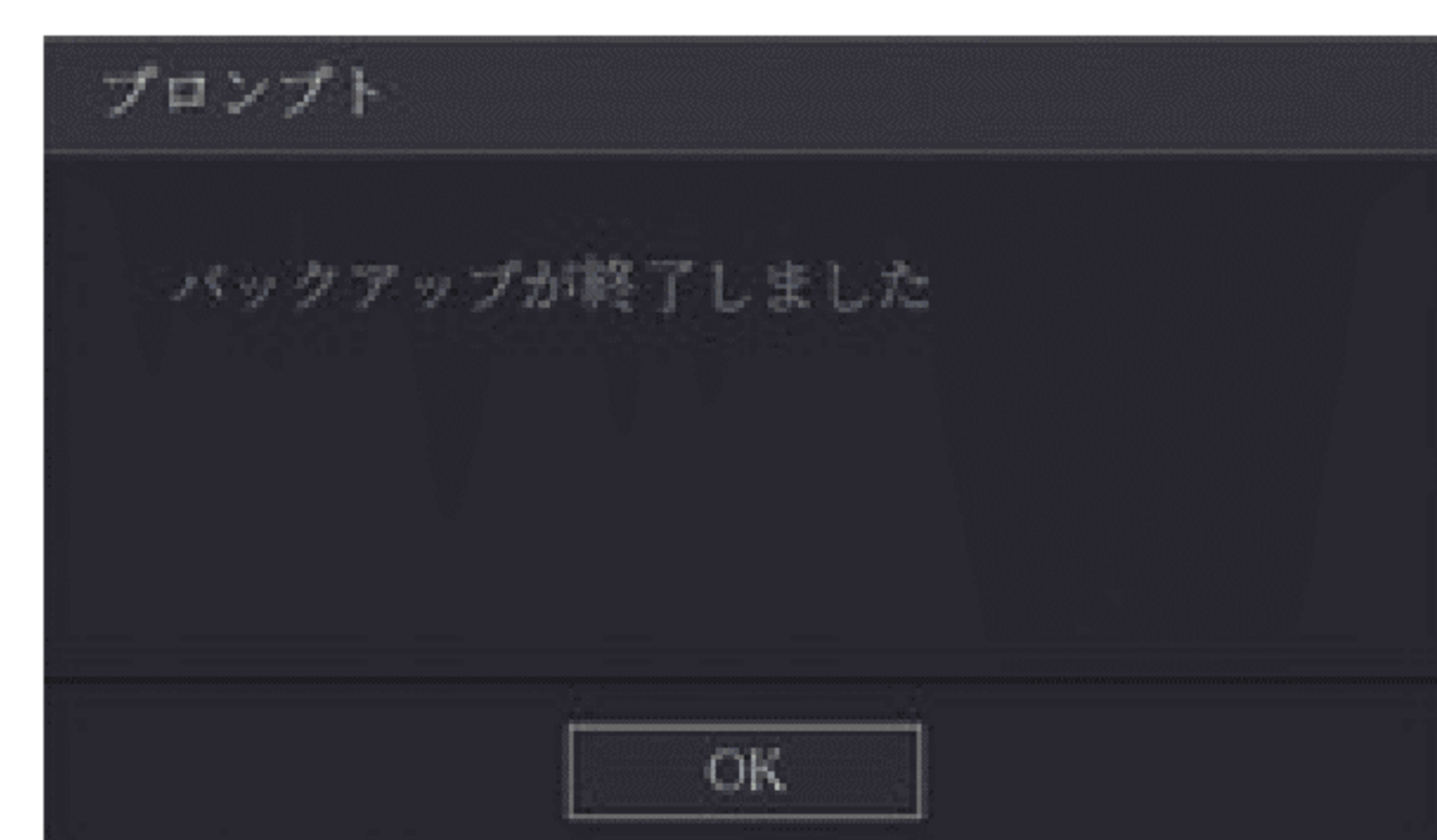
③ファイルの選択が完了したら、「バックアップ」ボタンをクリックします。

(5) バックアップ実行



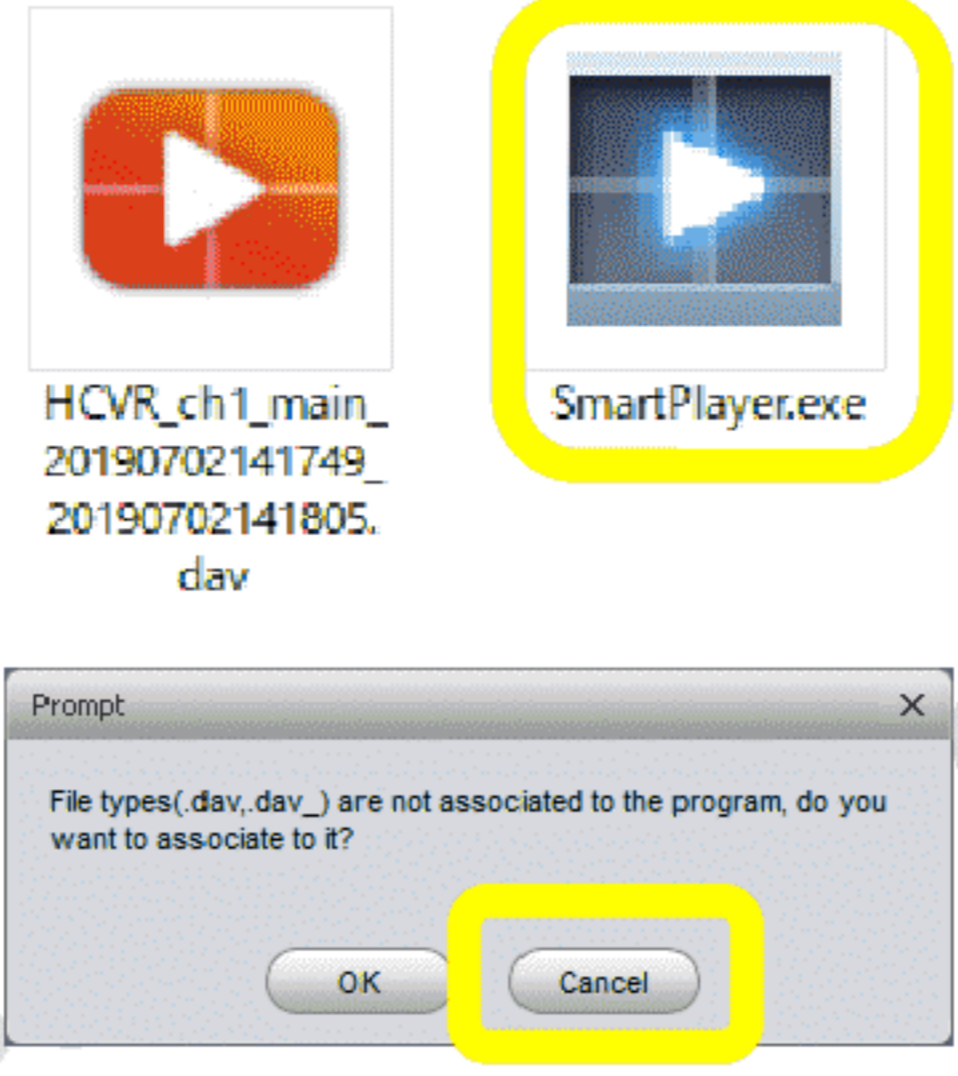
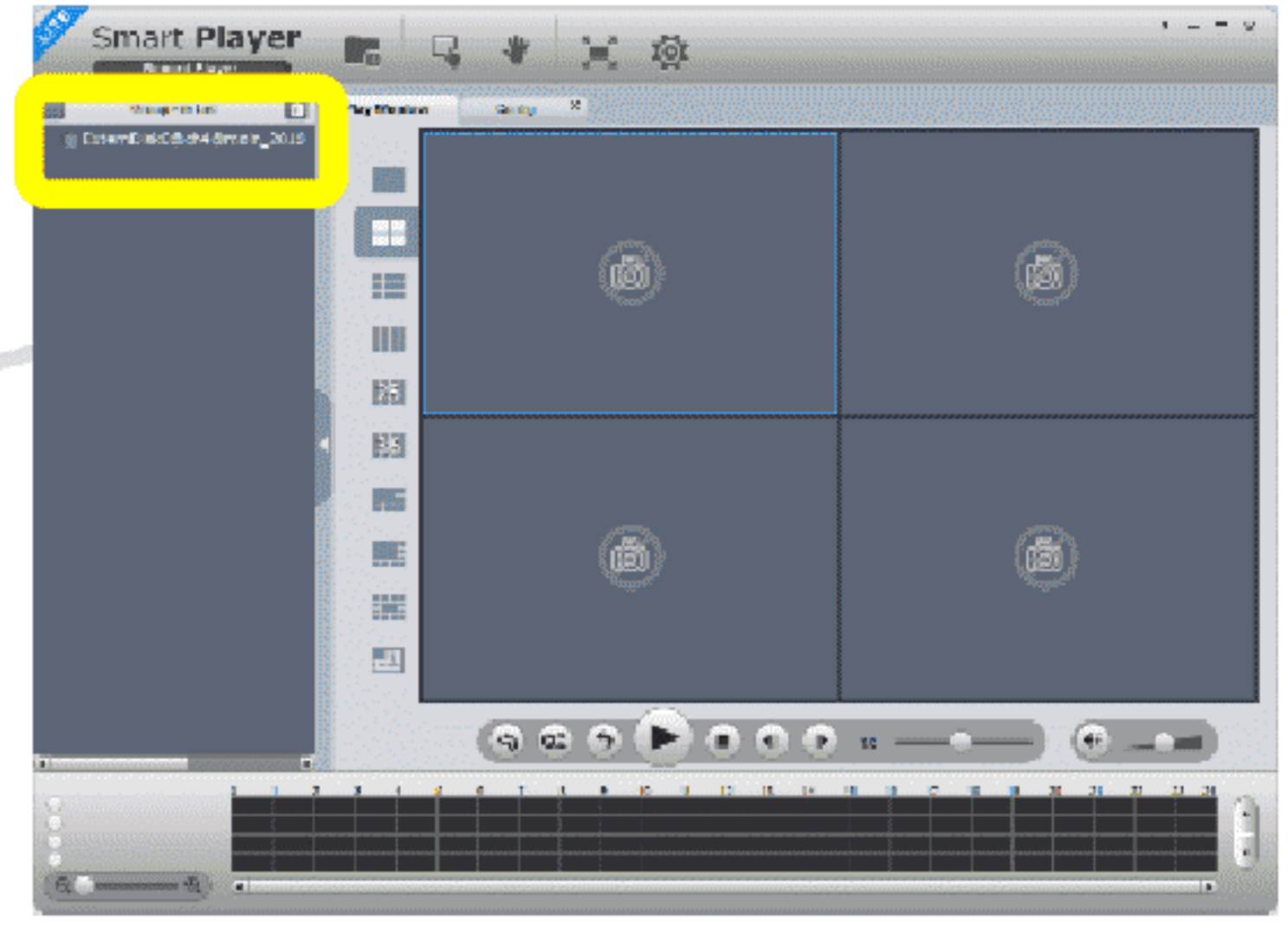
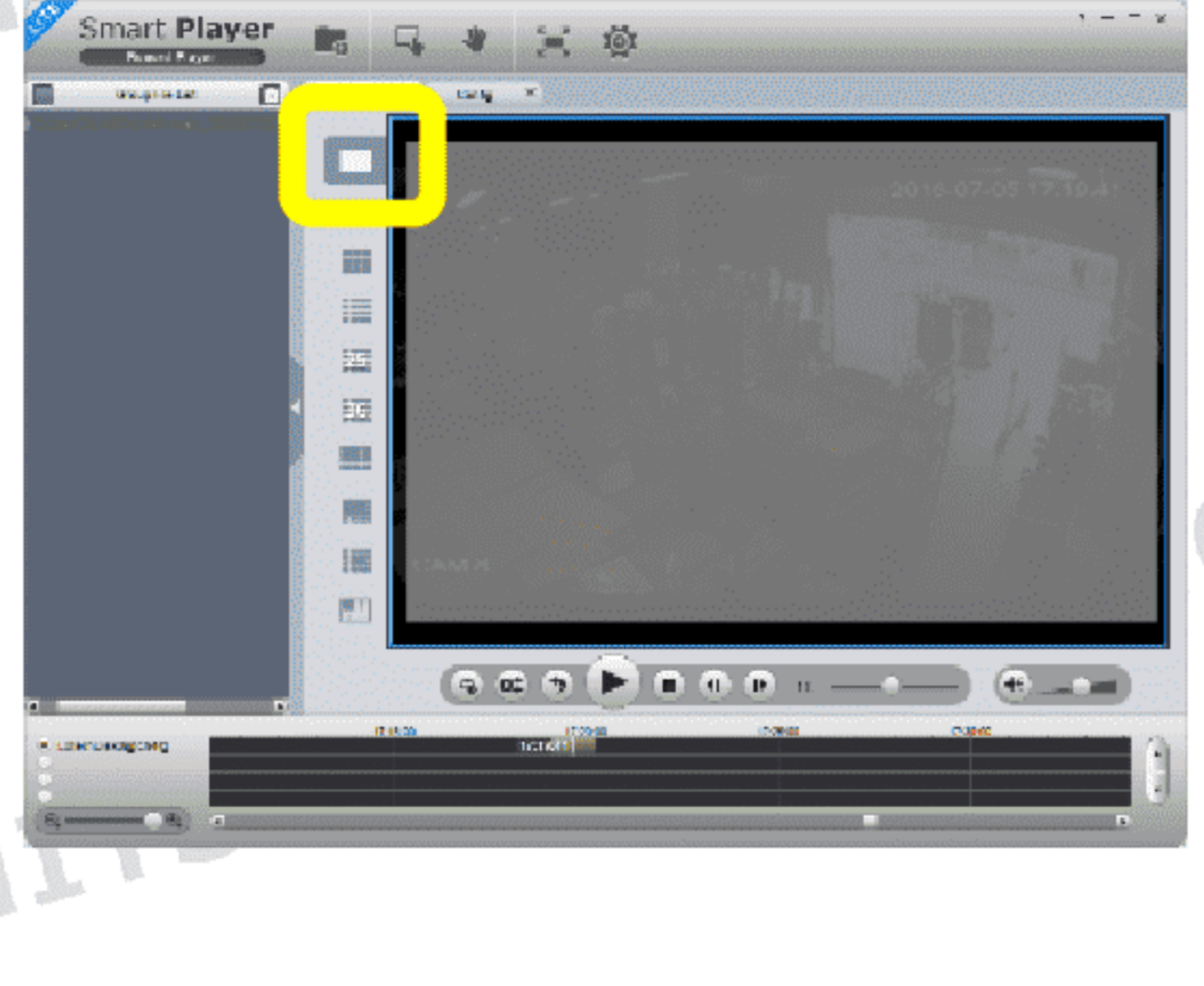
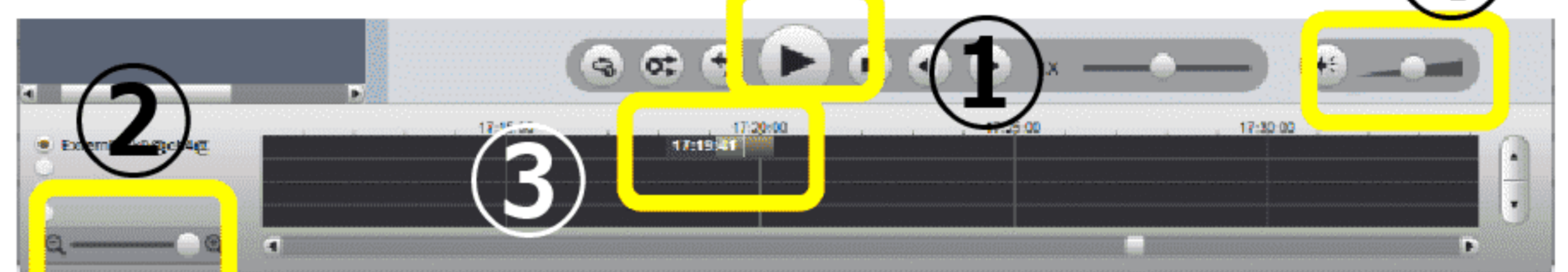
「開始」ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。

(6) バックアップ終了
バックアップが完了する、終了メッセージが表示されます。クリックして画面を閉じて下さい。



7. 映像データの再生

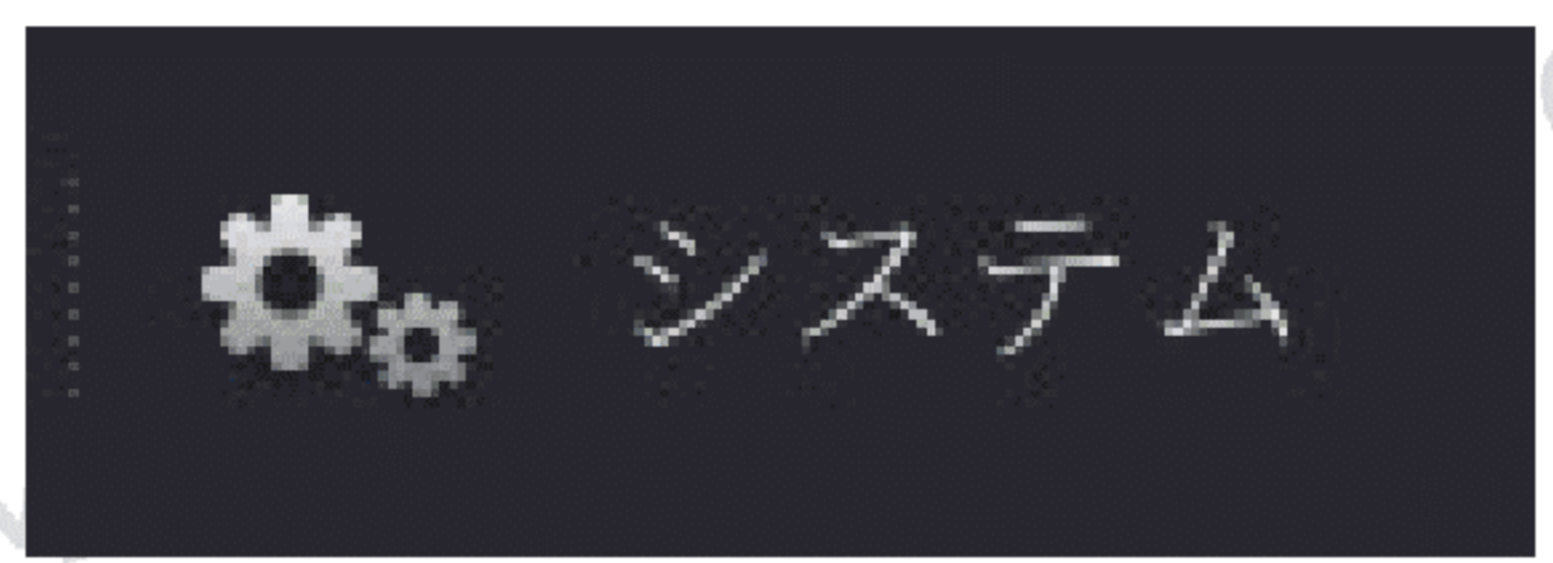

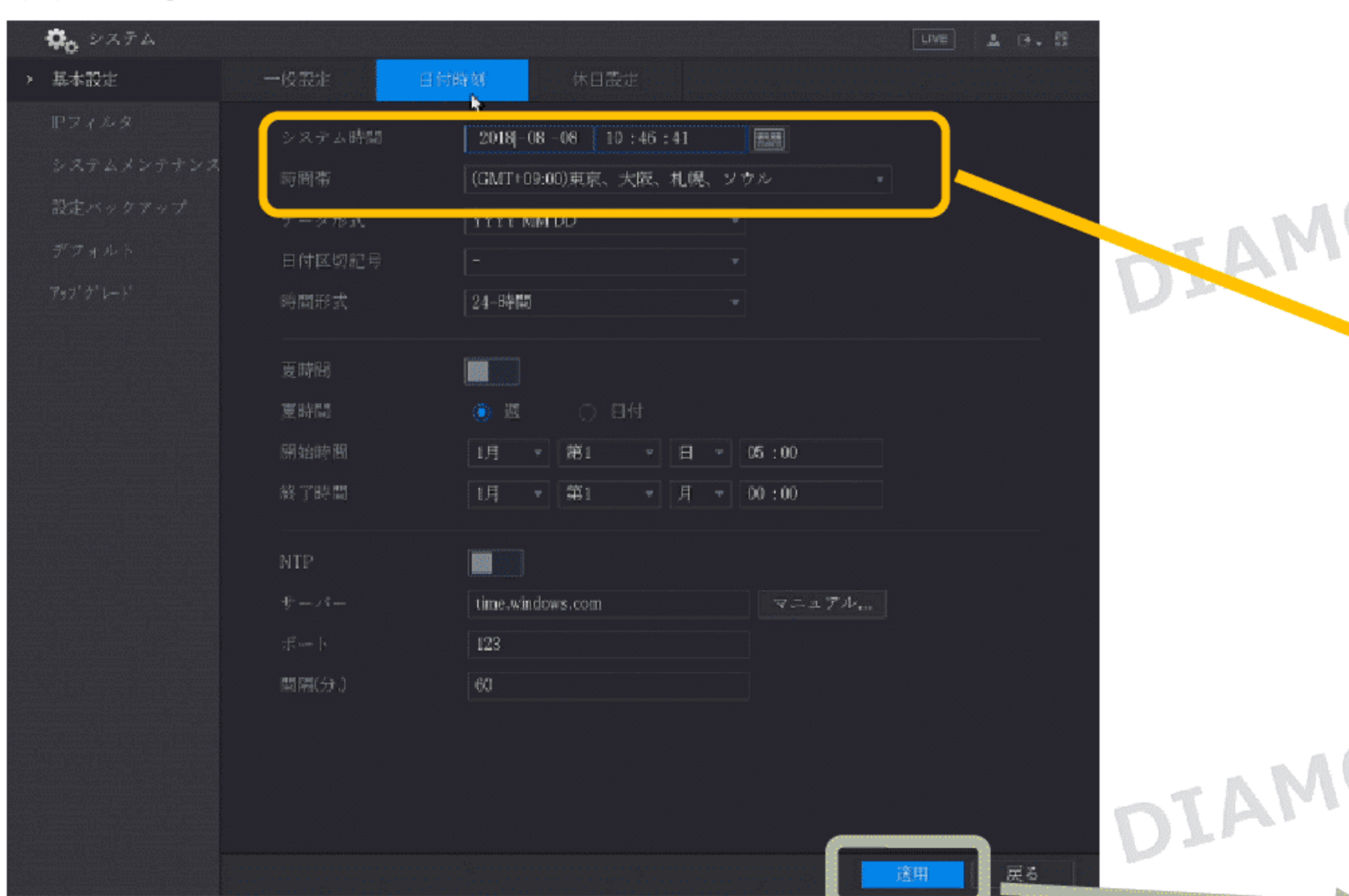

USBメモリにエクスポートした映像データを再生する手順です。

<p>(1) SmartPlayer Lite 起動 PCにUSBメモリを挿入し、その中にあるSmartPlayerをダブルクリックして下さい。</p> <p>起動時に右のメッセージが表示されるので「Cancel」をクリック。</p> 	<p>(2) 映像データの再生 SmartPlayerと同じフォルダにあるDAVファイルが左ペインに表示されるので、それをダブルクリックすると再生が始まります。</p> 
<p>(3) 画面表示変更 画面中央のバーの一番上のアイコンをクリックすると、1画面で表示されます。</p> 	<p>(4) 映像操作</p> <ul style="list-style-type: none"> ①再生ボタン 再生/一時停止 ②時間表示変更 黒枠内の時間表示を変更(左:時間、右:分) ③時間ゲージ 映像の再生枠。クリックで再生時間変更 ④再生速度 ゲージを左でスロー、右で倍速 

※SmartPlayerがUSBメモリに出力されない場合、弊社ホームページからダウンロードしてください。
https://www.mitsuboshidiamond.com/it/?s=&post_type=docss&docsscategory=&docssfunc1=docssfnsoftdl=

8. 時刻修正

レコーダの時刻がズレた場合に時刻を修正する手順です。

<p>(1) メニュー表示 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの「メインメニュー」をクリックします。 下段のメニューから「システム情報」をクリックします。</p> 	<p>(2) 日付メニューの表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「基本設定」をクリックします。 ②「日付時刻」タブをクリックします。 
<p>(3) 時刻修正</p> 	<p>①「日付時刻」タブメニューのシステム時刻の入力欄の修正したい項目に、マウスのポインターをあてクリックします。 ソフトウェアキーボードが表示されるので、数字キーをクリックして修正を行います。</p>  <p>②タイムゾーンが「GMT+09:00」である事を確認し、「保存」をクリックして下さい。</p> <p>③「適用」をクリックして下さい。</p>

9. レコーダ製品のより詳細な操作手順

弊社ホームページには、レコーダ操作に関するより詳細な手順や、その他の製品の操作手順を掲載しております。詳細はホームページにてご確認下さい。
<https://www.mitsuboshidiamond.com/it/docsearch/>

お問い合わせ